### 【ないか】

「…ないか」はとしてがう。ないの「…ませんか」や「か」をした「…ない？」はともにう。  
1　V－ない（か）＜＞  
①ちょっと、べてみない？  
②、いっしょにスキーにかないか。  
③そろそろおにしませんか。  
④ちょっとっていきません？  
なをすにいて、にをめたり、いっしょにしようとう。は「V－ませんか」となる。、でされ、「か」はされることもある。  
2　V－てくれない（か）＜＞  
①お、とってくれない？  
②ちょっとってくれませんか。  
③この、2、3してもらえない？  
④5までにおいでくださいませんか。  
⑤もうごいただけないでしょうか。  
「V－てくれないか／もらえないか」などので、にするをす。「V－てくださいませんか／いただけませんか／いただけませんでしょうか」や、④⑤のように「お／ご…くださいませんか」「お／ご…いただけないでしょうか」などのにするとさらになになる。「もらう／いただく」のは「V－てもらえないか／いただけないか」のように、をす「もらえる」「いただける」のをうというにすること。またの「おいでになる」や「する」などに「いただく／くださる」がくは「になって」や「して」をして「おいでいただけませんか／くださいませんか」「ごいただけませんか／くださいませんか」のようなになるのがである。でされることがく、「か」がされることもある。ないでは、のように「…えないか」というにいかえることもできる。  
もうごえないでしょうか。  
3　V－ないか＜命令＞  
①おいたないか。  
②だまらないか。  
③いいでやめないか。  
④くきないか。  
⑤さっさとかけないか。  
をこさないにして、すぐにをこすようにする。えば①は「て」、②は「だまれ」の。これらは「て」「だまれ」というのにているが、がなかなかをこさないでいられるため、しのいらだちやりがじられることがい．のでされ、にはならない。がいる。  
4　…ない（か）＜＞  
N／Na　ではないか  
A－くないか  
V－ないか  
①A：がじゃないですか。  
B：そうかな。  
②A：にはじゃないですか。  
B：ですよ。  
③A：にはちょっとしくない？  
B：ええ、でもやってみます。  
④A：この、ないがしない？  
B：うん、なんだかちょっと。  
⑤A：ちょっとからすぎませんか。  
B：そうですか。いて15ぐらいですけど。  
⑥の、ちょっとだといませんか。  
しのえがしいかどうかをきにするにいる。「Xじゃないか」などとちしのをっているが、のは「Xである」というのことがらである。きものは「はい／うん、そうだ」、うのは、「いいえ／いや、そうではない」のようなでえる。なお、すでにこったとわれることについてするは、のように、タをとる。  
A：かがしなかったか。  
B：いや、にはもこえなかったけど。  
A：にかかってませんでしたか。  
B：いいえ。  
5　…ない（か）＜控えめな主張＞  
N／Na　ではないか  
A－くないか  
V－ないか  
①が、にしたなんて、かのいではないか。  
②ののはちょっとじゃないか。  
③このスープ、ちょっと、がくない？  
④やめといたほうがよくないか。  
⑤そんなにいたらにならないか。  
のをえめにするので、「そうではないかとう」といったちで、ややうをしにべるのにいる。⑤のように、・のちをむこともい。「（の）ではないか」「（の）ではないだろうか／（の）ではなかろうか／（の）ではあるまいか」や「ないかしら／ないかな」のようなやをむでいかえられることがい。のことについてうはのように「（では）なかったか」のをとる。  
かけた、さんのさんじゃなかったか。  
しことばでは、やナにつく、「じゃないか」になるのが。  
6　…じゃないか  
⇾【じゃないか1】  
⇾【じゃないか2】  
7　…ではないか  
⇾【ではないか1】  
⇾【ではないか2】  
(365)

### 【ないかしら】

のにしのかなちをす「かしら」がついたもので、とへののどちらにもいられる。ことばだが、はあまりいられず、わりに「ないかな」をいる。  
1　…ないかしら＜願望＞　  
V－ない／V－れない　かしら　  
V－てくれないかしら  
①また、あのからがないかしら。  
②おちとできないかしら。  
③バス、すぐにてくれないかしら。  
④ちょっとってくれないかしら。  
をすの、をす「V－れる」のや「V－てくれない」にいて、しの・をす。④はきにかってうようなはにもなる。  
2　…ないかしら＜・＞　  
N／Na　ではないかしら　  
A－くないかしら　  
V－ないかしら  
①こうからくる、さんじゃないかしら。  
②この、にはちょっとじゃないかしら。  
③このご、ちょっとかたくないかしら。  
④あんなににったらこわれないかしら。  
のにいて、にはないが「ひょっとするとそうかもしれない」といったや「そんながする／がある」といった・なちをす。りのはしのをすが、きにかってうは「そういませんか」とのをうになる。(367)

### 【ないかな】

のにしのかなちをす「かな」がついたもの。とへののどちらにもいられる。「かしら」とはなりどちらでもできるが、ないではないので、きにしてするようなはしいにられる。  
1　…かな（あ）＜願望＞V－ない／V－れないかなあ　  
V－てくれないかなあ  
①くみにならないかなあ。  
②いいがられないかな。  
③がにってくれないかな。  
ややをすやをす「V－れる」のをけて、「そうだといい」「そうなってほしい」というしの・をす。  
2　…かな（あ）＜推測・懸念＞  
　  
N／Na　ではないかなあ　  
A－くないかなあ　  
V－ないかなあ  
①あの、さんのさんじゃないかな。  
②だったらじゃないかな。  
③こっちのほうが、よくないか。  
④にはちょっとしすぎないかな。  
⑤この、ちょっとさくないかな。  
⑥あんなことをって、っていないかな。  
のにいて、にはないが「ひょっとするとそうかもしれない」というや、「そんながある／そんながする」という・のちをす。りのはのになるが、がいるには、「そういませんか」とのをうになる。(368)

### 【ないことはない】

V－ないことはない  
①A：とてもまでにはわりそうにないんですけど…。  
B：いや、やるがあればできないことはありませんよ。  
②A：はないんじゃないか。  
B：ないことはないとうよ。れてもずるとっていたから。  
③A：1でできますか。  
B：できないことはないですが、かなりらないとしいですね。  
④A：きたくないの？  
B：きたくないことはないけど、あまりがすすまないんだ。  
のをけて、「そのようなことはくない」とにしたり、「ではそうだが100パーセントそうだというわけではない」といったをしてうようなにいる。①②がので、③④がのである。  
それぞれのですれば、①はAの「できません」というなをけて、Bは「できないということはない」つまり「できる」ということをっている。これにして③は「できるがずというわけではない」つまり「できないということもある」ということをしている。  
のは「ないこともない」とのいかえがだが、のではそれがである。  
(368)

### 【ないこともない】

V－ないこともない  
①よくえてみれば、のうことももっともだとえないこともない。  
②われてみれば、かにあのときのはがおかしかったというがしないこともない。  
③このはのでいているとえないこともない。  
のがいられ「そのようながある／がある」といったなをす。にそうだというわけではないが、そのようにえるがあるといった、をするちをすようなにいられる。「えなくもない」「がしなくもない」のようながよくいられる。(369)

### 【ないで】

のがテのをとったもので、にくやがどんな・・のもとにするかをす。  
1　V－ないで＜付帯状況＞  
①はもごをべないでかけた。  
②はしないでをした。  
③をたないでかけてにられてしまった。  
④しないでったら、でれなかった。  
⑤をかないでてはいけません。  
ろにのをって、「…しないで…する」というをす。きことばでは「…ずに」もわれる。「…なくて」にいかえることはできない。  
2　V－ないで＜代わりに＞  
①がないでがた。  
②ロンドンにはかないで、パリとローマにった。  
③してもちっともやせないで、かえってがしえた。  
④っているのに、はちっともよくならないで、むしろがってきている。  
「…ではなく、わりにのことをう／のことがこる」というで、つのことがらをにべる。にくことがらは・にしただというをむがい。きことばでは「…ずに」もわれる。「なくて」できかえられないこともないが、「なくて」のは「わりに」というながなく、つのことがらがしてしたというのになる。したがって、なをしたいには、「ないで」をわなければならない。  
3　V－ないで＜原因＞  
①がちっともしないでっています。  
②やつがないでかった。  
③にパスできないでがっかりした。  
④きられないでにれた。  
⑤にならないでよかった。  
「…しないことがで」というをす。にくには、①②のように「った」「かった」などのやをすや、④のように、ながめられることがらのことがい。このでは、に「なくて」とのきかえができる。(369)

### 【ないである】

V－ないである  
①はいたけれど、さないである。  
②きのメロンがまだをつけないであるから、しがれ。  
③このことはまだにもらせないである。  
「…しないままのにおいてある」というで、がにわないをけるようなの。「はもうしてある」のような、「てある」のがをとったものである。「…（せ）ずにある」のがのい。(370)

### 【ないでいる】

V－ないでいる  
①からもべないでいる。  
②このことはにもさないでいる。  
③のはからもないでいた。  
④はではきがることもできないでいる。  
「…しない（できない）ままのでいる」というをす。「…（せ）ずにいる」ともえる。にたつのは、やをつやといったものにられるため、のようなにはえない。  
がらないでいる。  
(370)

### 【ないでおく】

V－ないでおく  
①がないのでごはべないでおこう。  
②にっているので、まだしないでおいた。  
③がさわるとからなくなるとったので、のはしないでおきました。  
らかの・があって、に「…しないままでおく」という。「…せずにおく」ともえる。  
(371)

### 【ないでくれ】

①なことはしないでくれよ。  
②ここではたばこをわないでくれ。  
⇾【てくれ】2  
(371)

### 【ないですむ】

V－ないですむ  
①がすいていたので、しないですんだ。  
②でがついたので、かないですんだ。  
「していたことをしなくてもよくなる」「されることがけられる」という。ましくないがけられることをす。  
(371)

### 【ないではいられない】

V－ないではいられない  
①こんなしいをいたら、かないではいられない。  
②わないほうがよいことはかっているが、さないではいられなかった。  
③あのをたら、だってしないではいられないだろう。  
④のことでは、まされないではいられない。  
のにいて、のではさえることができないでにそうしてしまうというをす。「く」「う」「する」など、のや・のきをすがいられる。しがそれを「もっともだ」ととらえているみがある。きことばでは「…せずにはいられない」ともなる。(371)

### 【ないではおかない】

V－ないではおかない  
①このは、むのをたないではおかないだろう。  
②のは、どこかをたせないではおかないものがある。  
③とのこと、させないではおかないぞ。  
のやの「V－させる」のにいて、からのいによって、のにはかかわらずそのようなやがきこされるというをす。、きことばのなので、「せずにはおかない」のをとるほうがである。(371)

### 【ないではすまない】

V－ないではすまない  
①りいにりたキャンプのテントをひどくってしまった。しいのをってさないではすまないだろう。  
②こんなひどいことをしたんでは、おさんにしかられないではすまないよ。  
③もないに、このようななをいてしまった。いつのにか、そのいをけないではすまないであろう。  
のにいて、そのをしないでそのままにしておくことはできないというをす。えば①はれたまますわけにはいかないからってさなければならないの。マイナスののをすのが。かたい。  
(372)

### 【ないでもない】

のや「ない」をけて、そのようなことがくないわけではなく、それがしたりすることもあるというをす。「…ないこともない」「…なくもない」ともう。  
1　V－ないでもない  
①A：はおきですか。  
B：べないでもないですが、あまりきじゃありません。  
②A：ねえ、きましょうよ。  
B：そんなにうならかないでもないけど。  
③にもいがあったことはめないでもない。  
④えてみれば、のももっともだというがしないでもない。  
のをけ、そのような、がすることもあるというをす。「う、える、う、める、じる、がする」などやにかかわるがいられたは、「となくそんながする」といったをす。  
2　Nがないでもない  
①には、になりたいとうことがないでもない。  
②は、いでするつもりがないでもないらしい。  
③をしたいもないではないが、なかなかそのがとれない。  
としてやちをすをけて、そのようなちがまったくないわけではないというをす。「＋も」がにあるは、③のように「Nもないではない」のがわれることもある。(372)

### 【ないでもよい】

V－ないで（も）よい  
①このにはもかないでもよい。  
②はないでいいですか。  
③そんなことはわないでもいいじゃありませんか。  
「V－なくてもいい」とので、「するがない」というをす。「も」がちて「ないでいい」がいられることもある。しことばでは「なくてもいい」のほうがよくわれる。めかしいいでは「…ずともよい」（：かずともよい）のようないもある。  
(373)

### 【ないと】

N／Na　でないと  
A－くないと  
V－ないと  
1　…ないと＋マイナス評価の内容  
①がないとするよ。  
②しないとられます。  
③しないとになるぞ。  
④はもうしがくないとむずかしいだろう。  
⑤くてくれないとるよ。  
に「する」「むずかしい」などのマイナスのをすをって、あることがらがしないにはましくないがこるというをす。「…ないと」のでべたことがらをしたり、そうしたほうがいいとをえたりするにうことがい。  
2　…ないと…ない  
①70でないとできない。  
②ののきにでないと、すぐれたにはなれない。  
③がくないとファッションモデルにはなれない。  
④べないときくなれないよ。  
⑤くないとにいませんよ。  
⑥がくないとうまくしない。  
にのをいて、あることがらがしないにはのことがらがしないというをす。「なくては…ない」「なければ…ない」ともうが、それらよりもしことば。  
3　…ないと　いけない／だめだ  
①をぐにはなをらないといけません。  
②レッスンをむときは、しないといけないよ。  
③はまずおもしろくないといけない。ほかのはのだ。  
④こういうはいでないとだめだ。にやってもらおう。  
「…であることがだ／だ／だ」というをす。のようにろのをすることもある。  
はやっぱりでないとね。  
「なくてはいけない」「なければいけない」ともうが、それらよりもしことば。「なくてはならない」「なければならない」といういはあるが、「ないとならない」のはない。  
くかないとならない。  
くかなければならない。  
⇾【なければ】2  
(373)

### 【ないといい】

N／Na　でないといい  
A－くないといい  
V－ないといい  
①あそこのさん、もうちょっとおしゃべりでないといいんだけど。  
②しくされるの、あまりでないといいのだが。  
③これほどしくないといいのだが。  
④このになんかないといいのになあ。  
⑤にならないといいが。  
のをけ、そうでないことをむちをす。すでにしていたりこるやがあるようなにわれることがい。いらずに「いいのに／が／けれど」などでわるいがである。「なければいい」ともう。(374)

### 【ないともかぎらない】

①はのだから、かがねてこないともかぎらない。  
②をしておかないと、またにられないともかぎらない。  
③えないともらないので、もうしたがいい。  
④じゃないともらないし、ちょっとをれてみたがいいかもしれない。  
「…ということは 100％ なことではない」というをす。もこるはずがないとってしていないで、かをてたがいいということをうのにうことがい。のにくのがだが、の「いつぬともかぎらない」はににくで、「いつぬかはわからない」の。  
いつぬともかぎらないのだから、やりたいことはやりたいにやったがいい。  
(374)

### 【ないまでも】

V－ないまでも  
①とはわないまでも、に2、3はをしようとう。  
②とはえないまでも、するはかなりいといます。  
③はしないまでも、せめてにはてなさい。  
④をむのなら、にしないまでも、にをむかかすべきだとう。  
のをけて、「そこまでのでなくても、せめてこのぐらいは」というをす。のに、やにおいてのいことがらがされ、のにはそれよりいのことがらがく。①②のように、「…とはわない／えないまでも」のもよくわれ、「そこまでとはわない／えないが、なくともこののことは」というをす。には「すべきだ」「…たがよい」などのや、・・などのがいられる。なかたいに「V－ぬまでも」がある。(374)

### 【ないものか】

V－ないもの（だろう）か　  
V－れないもの（だろう）か  
①このはとかならないものか。  
②このがくしないものか。  
③このをどうにかしてできないものか。  
④のでこのたちをけてあげられないものだろうか。  
の、をす「V－れる」のにいて、「それをとかさせたい」というやのをくむしのちをす。がなかなかしいでいられることがい。④のように「…ないものだろうか」となることもある。(375)

### 【なお】

1　なお＜程度＞  
①あなたがてくれれば、なおがよい。  
②をんだのに、はなおした。  
③はいてもなおにをけている。  
④するまでには、なお1ぐらいだ。  
⑤されると、なおやってみたくなる。  
ののものとべて、「」「もっと」「さらに」「そのうえ」のように、それよりがだというや、「まだ」「わらず」「もなお」のように、としてじがいているというをす。⑤のように、がなをもつは「かえって」にいになる。  
2　なお＜但し書き＞  
①はまでに、をしてください。なお、いったんされたは、いかなるにもおしできませんので、ごください。  
②のをのとします。なお、しいなどは、1までにでおらせすることにします。  
③はでしんでください。なお、のは、とさせていただきます。  
④は、2、3のはになります。なお、4のみがのは、どおりいますのでしてください。  
これまでのをいったんちって、それにするしきや、、やをしたり、とはにのないのをするようなにいる。④のように、からけるからはずれるようなことがらをするようなは「ただし」にいをもつ。やおらせ、のなど、しことばよりもかれたでいられることがい。(375)

### 【なおす】す

1　R－なおす＜意志的＞  
①のに、のをきした。  
②がセリフをえたため、じを3もりさなければならなかった。  
③をもうしてください。  
④をってしてい。  
⑤はこのをやめようとったが、いしてまでることにした。  
なをすのにいて、ったをもううというをす。ののがましくないので、それをするでやりすようながい。「る」のようなをいて、ほとんどのにく。そののは「いす、えす、しす、てす、てす、りす、りす、みす、きす、やりす」など。  
2　R－なおす＜無意志的＞  
①になって、がちした。  
②はだいぶちした。  
③なをて、にほれした。  
④のことをした。  
のにわらないことがらをすなのにいて、によいにかうというをす。「ちす」はやがするという。③④はたによいをめするといったをす。にるはにげたようなものられており、いずれのにも、「す」にしのなのがないで1のとはされる。のとしては「をりす」がある。  
(376)

### 【なか】

1　Nのなか  
①のにはだれがいるの。  
②ののはからはえない。  
③のからバネけのがびした。  
なのというをす。  
2　Nのなかで  
①3のでは、がだ。  
②ワインとビールとので、ワインがきだ。  
③このでがいはだれですか。  
つのものをするのをすようなにいる。②のように「NとNとNので」とそのをするもある。  
3　…なかを  
Nのなかを  
A－いなかを  
V－るなかを  
①しいのをさまよった。  
②がるを5もさまよいけた。  
③おしいをごです。  
④はおのいをわざわざおでいただき、まことにりうございます。  
「…を」ので、のがわれるをす。には「く」「さまよう」「る」など、をうのがる。「をする」のをつため、1の＜な＞とである。③は「おしいを（おでくださり）」の（　）のがされたもの。③④は「ところ」でいかえられる。  
(377)

### 【ながす】

R－ながす  
①このレポートは、のもせずに、いついたことをにきしているだけだ。  
②がをくしたは、なかなかである。  
③ざっとみしただけですが、なかなかいですよ。  
④のいうことはきしておいてください。  
⑤はのなもくけしている。  
のをけて、そのをあまりまずに、にうというをす。からのきかけののは、それをまともにはけめないで、はぐらかしたり、そらすといったをす。②の「す」ははかまをつけずにるのふだんののこと。の「し」のでいられることがい。(377)

### 【ながら】

1　R－ながら＜同時＞  
①をきながら、やをするのことを「ながら」という。  
②そのでおでもみながらしましょう。  
③はをいながらのをしている。  
④よそをしながらするのはです。  
⑤はをあげながらっさまにしていった。  
⑥はぶくぶくとガスをさせながらをけている。  
のをすをつないで、にするつのをす。この、のがなで、のはそのをうのなどをするなをす。①のでえば、「やをする」のがなで、それを「をく」をいながらうということである。のはにりむとをむがにわれたことになり、のでをんだというにはできない。  
にりながらをんだ。  
にってをんだ。  
ともはで、のなをすがいが、⑤⑥のように、やのように、のでいたりできるもののもある。  
はをみながら、はウイスキーをんだ。  
2　…ながら＜＞  
Nながら  
R－ながら  
①いつもながら、なおみですね。  
②このメーカーは、ながらのでをつくっている。  
③は、ながらにのをった。  
④まれながらのすぐれたにまれている。  
⑤このは、まれながらにしてれたをえている。  
や、のにいて、そのまましないでく・をす。えば、「まれながら」「ながら」は、「そのからずっとそのまま」というで「まれつき」「のまま」にいである。また「ながらに」は、「をしているで」というで、「をして」ともいかえることができる。がんだで、にくるはののようなのものにられている。  
3　…ながら（も／に）＜＞  
N／Na　ながら  
A－いながら  
R－ながら  
①このバイクはながらがある。  
②ながら、あっぱれなであった。  
③ながらに、なかなかしっかりとしたであった。  
④ながら、にはできません。  
⑤いながらもようやくのちをにれることができた。  
⑥もかもっていながらえてくれない。  
⑦すぐくまできながら、にはらずにってた。  
⑧のでありながら、でしている。  
⑨ながらもをけている。  
⑩ゆっくりながらもはしずつんでいる。  
、イ、ナ、の、（「…と／に」などをうはそれをいた）などにいて、「…のに」あるいは「…けれども／が」とののをす。「も」をい「ながらも」のでわれることもある。③の「ながらに」は、ややめかしいいで、しことばでは、いられない。こののでは「ながら」のにくるはのがい。これにして、1ののはともをすにられる。  
4　…とはいいながら⇾【とはいいながら】  
(379)

### 【なきゃ】

①くかなきゃにあわない。  
②もうらなきゃ。  
「なければ」のくだけたい。  
⇾【なければ】  
(379)

### 【なくしては】

Nなくしては  
①のなくしては、とてもでできない。  
②のなくしては、てはでしかない。  
③のこののなくしては、ののをちることはできなかっただろう。  
④のななくしては、へののりはいとわざるをない。  
⑤なくしてのか。  
にいて、「あるものがなかったら」というをす。それがなかったらかすることはしいだろうということをべるのにう。によって「は」はできる。⑤はで「がなかったらにのがあるというのか」という。きことばで、しことばでは「Nがなかったら」をう。(379)

### 【なくちゃ】

N／Na　でなくちゃ　  
A－くなくちゃ　  
V－なくちゃ  
①しなくちゃられる。  
②くらなくちゃ。  
「なくては」のくだけたい。⇾【なくては】  
(380)

### 【なくて】

Nがなくて　  
N／Na　でなくて　  
A－くなくて　  
V－なくて  
①の、ガンでなくてした。  
②したは、おがなくてした。  
③のがでなくてだ。  
④ったよりくなくてほっとした。  
⑤ちっともがらなくてっている。  
⑥あいつがなくてかった。  
「そのようなことがしないことが・で」といったで、のことがらの・をす。には「する」「る」「かる」など、しのやをすがいられる。「なくて」はのことがらがしてすることをしているだけで、・をするものではない。そのためのの「なくて」を「ないので」「ないから」にきかえるとになることがい。  
(380)

### 【なくては】

N／Na　でなくては  
A－くなくては  
V－なくては  
①いでなくてはときうのはしい。  
②どんなにおがあってもでなくてはせだとはえない。  
③がもっとよくなくては、このへのはだろう。  
④がいなくては、きていけない。  
⑤いてみなくてはからない。  
⑥もっとべなくてはきくなれないよ。  
にのや「だ」「しい」などののをい、「そうでなければ…はだ」というをす。のでべることがらのをんだり、それがだということをいたいにう。「なくては」は「なかったら」「なければ」「ないと」でいかえられることがい。くだけたしことばでは「N／Na　じゃなくちゃ」「A－く／V－なくちゃ」となる。(380)

### 【なくてはいけない】

N／Na　でなくてはいけない　  
A－くなくてはいけない　  
V－なくてはいけない  
①はのものでなくてはいけない。  
②はどのにしてもでなくてはならない。  
③がむには、もうしくなくてはだめだ。  
④のとすはことばづかいにをつけなくてはいけない。  
⑤のためにかなくてはならない。  
「…なくてはいけない／ならない／だめだ」などので、でそうする（である）ことが「だ」「だ」というをす。しことばでは「なく（っ）ちゃ」となったり、ろのがされることもある。  
もっとまじめにしなくちゃだめだよ。  
もうかなくちゃ。  
「なくてはいけない」と「なくてはならない」のいについては【なければ】2　を。  
(381)

### 【なくてはならない】

⇾【なければ】2

### 【なくてもいい】

N／Na　でなくてもいい  
A－くなくてもいい  
V－なくてもいい  
①はたっぷりあるから、そんなにがなくてもいいですよ。  
②でなくてもいいから、ときどきしてさい。  
③このはおでかすんだけど、はそんなにくなくてもいいよ。すぐけるから。  
④がしいは、してなくてもいいですよ。  
「…するがない」というをす。「なくてもかまわない」「なくても」などがいられることもある。あらたまったいに「なくともよい」がある。(381)

### 【なくともよい】

N／Na　でなくともよい　  
A－くなくともよい　  
V－なくともよい  
①はでなくともよい。ただし、そのはに、のこと。  
②にはずしもでなくともよい。  
③のはそれほどくなくともよい。  
④をすれば、ずしもがしなくともよい。  
「…するがない」というをす。「なくてもよい／いい」ので、ではまったをいてはあまりわれない。「する」のは「せずともよい」がわれることもある。  
(381)

### 【なくもない】

のや「ない」のをけて、そのようなことがくないわけではなく、それがしたりすることもあるというをす。「ないこともない」「ないでもない」ともう。  
1　V－なくもない  
①A：おはしがらないんですか。  
B：まなくもないんですが、あまりくはありません。  
②にはすることをえなくもない。  
③のは、にてからししたとえなくもない。  
④はしがないようながしなくもない。  
のをけ、そのような、がすることもあるというをす。「う、える、う、める、じる、がする」などやにかかわるとともにいられたは「となくそんながする」といったをす。  
2　Nがなくもない  
①するつもりがなくもない。  
②あのをむちがなくもない。  
③A：あのまだですが、するつもりがないのでしょうか。  
B：そのもなくはないようですが、のところはにそんなはありませんね。  
としてやちをすをけて、そのようなちがまったくないわけではないというをす。「＋も」がにあるは、③のように「Nもなくはない」のがわれることもある。  
(382)

### 【なけりゃ】

N／Na　でなけりゃ  
A－くなけりゃ  
V－くなけりゃ  
①このはあなたでなけりゃまらない。  
②ころばなけりゃてたのに。  
「なければ」のくだけたい。  
⇾【なければ】  
(382)

### 【なければ】

N／Na　でなければ  
A－くなければ  
V－なければ  
「する」は「しなければ」のほかに「せねば」というがある。しことばでは「なけりゃ」「なきゃ」のもわれる。  
1　…なければ…ない  
①このはでなければることができない。  
②がじょうぶでなければこのはつとまらない。  
③はワープロでなければがけない。  
④がくなければファッションモデルにはなれない。  
⑤くなければわない。  
⑥しなければにはれない。  
⑦がってくれなければこのはしない。  
にはのや「だ」「むずかしい」などののをい、あることがらがしないにはのことがらもしないというをす。「…なくては…ない」ともう。  
2　…なければいけない  
…なければならない  
…なければだめだ  
①は、にしてでなければならない。  
②そろそろ、らなければいけません。  
③もっとをにしなければだめですよ。  
「…であることがだ／だ／だ」というをす。のようにろのをすることもある。  
もう10だから、そろそろらなければ。  
「なくてはいけない／ならない／だめだ」ともうが、のようないけがある。「なければならない」「なくてはならない」は、やことがらのからて、そのような・があるというをす。つまりにとってもそうする・があるというなをべるにいられることがい。これにして「なければいけない」「なくてはいけない」は、のでやがじたにいられることがい。「なければだめだ」「なくてはだめだ」もであるが、「なければいけない」「なくてはいけない」よりもさらにしことば。「なければ」のわりに「ねば」、「ならない」のわりに「ならぬ」をうさらにきことばないもある。  
には、せねばならぬこともある。  
また、「ならない」のわりに「ならん」、「いけない」のわりに「いかん」をうこともあるが、これはめかしいしことば。  
するには、もっとをめなければならん。  
しぐらいつらくても、しなければいかんよ。  
3　…なければV－た  
①がけてくれなければ、このはしなかっただろう。  
②てでなければ、はあんなとはしなかったにいない。  
③あのさえなければれることにはならなかったのに。  
④あのミスさえしていなければできたはずなのに。  
⑤がこんなにくなければがけられたのに。  
がなればもまたなったものになるというのなをす。には「だろう」「にちがいない」「はずだ」「のに」などがわれることがい。  
(382)

### 【なさい】

R－なさい  
①うるさい。すこしかにしなさい。  
②もがあるんだから、くなさい。  
③A：あいつ、になんだから。  
B：よしなさいよ。そんないするの。  
④A：のパーティー、どうするの？  
B：こうかな。どうしようかな。  
A：ってないで、きなさいよ。おもしろいから。⑤≪の≫のをんで、でえなさい。  
やをす。がに、がにしてなど、するにあるがうことがいが、③④のように、やなどしいでもわれる。③はので、のをたしなめるためにわれている。④はい。また、⑤のように、などのにもわれる。「ごめんなさい」は、しいでわれるの。「おやすみなさい」は、るにう。(384)

### 【なさんな】

V－なさんな  
①などひきなさんな。  
②だから、そんなにしなさんな。  
「する」の「なさる」にの「な」がついた「なさるな」のしことばないで、「…するな」のをす。しいでしかえない。のはうが、いはほとんどわず、「をひくなよ」「するなよ」のようないをするのが。にうは、「しないで／ごなさらないで／ごにならないでください」のように「…ないでください」やそのをう。(384)

### 【なしでは…ない】

Nなしでは…ない  
①あなたなしではきていけない。  
②なしではのをめない。  
③なしではをめるわけにはいかない。  
④にネクタイなしでは、かっこうがつかない。  
⑤このでくのになしではる。  
にやなのをい「それがないでは…することができない／る」「Nがどうしてもだ」というをす。「Nが（い）なくては／（い）なければ…できない／る」などといかえることができる。(384)

### 【なしに】

Nなしに  
①このは、はけなしにしてはいけないことになっている。  
②りなしにしたために、のでロビーのをさせられた。  
③さんはしいだから、なしにとったりしないでしょう。  
④では、きなしにいきなりにらないように、にわかりやすいをこころがけてください。  
⑤にたアルバイトのは、いいなのだが、いつもあいさつなしにるので、いつったかわからなくてる。  
「け」「り」などをすにいて、そのをしないでかするというをす。「もってしておかなくてはいけないことをしないで、かをする」というでわれることがい。のようにに「の」がくと「も」がって「のNもなしに」というになる。  
はのもなしにたずねてきて、のをした。  
きことばで、しことばでは「しないで」をう。  
(385)

### 【なぜか】

①なぜかのことがにかかってしかたがない。  
②ははなぜかがないようだ。  
③だめだとってたのに、なぜかしていたにされてしまった。  
「・はからないが」というちをす。しのや、やにしたことなどをべるにわれることがい。  
(385)

### 【なぜ…かというと】

①なぜしたかというと、かけるにがかかったからです。  
②なぜがくのかというと、がしているからだ。  
③なぜアメリカにしたかといえば、がいるからです。  
④なぜあんなにしているのかといえば、はをとるつもりなのです。  
「なぜ…かというと／かといえば」ので、「なぜ」のにやをすがて、そのをめるのにう。ろのでがべられる。にはたいてい「からだ」をうが、④のように「のだ」がいられることもある。  
(386)

### 【なぜかというと…からだ】

①A：にくとどうしてがちないのですか。  
B：なぜかというと、のがかなくなるからです。  
②がであるはずがない。なぜかというと、そのはとにいましたから。  
「なぜかといえば…からだ」とじ。  
⇾【なぜかといえば…からだ】  
(386)

### 【なぜかといえば…からだ】

①A：はなぜからにしてくのでしょう。  
B：それはなぜかといえば、がしているからです。  
②はとネクタイをした。なぜかといえば、のがもうすぐあるからだ。  
にべられたことについて、そのやをするのにいる。は「…からだ」のをとるのがだが「…ためだ」となることもある。のやのなどをべるにいられることがい。  
(386)

### 【なぜならば…からだ】

①にはです。なぜならば、にだというがないからです。  
②のごはまだするわけにはいかない。なぜならば、なでまっていないからだ。  
③ははたないで、タクシーをすることにしている。なぜなら、タクシーなら、やがかからず、がりだからである。  
にべたことについて、そのやをするのにいる。「ば」はされることもある。どちらかというと、きことばや、まったでのしことばでられる。のでは「なぜかというと／なぜかといえば…からだ」がわれることがい。  
(386)

### 【など】

くだけたいでは「なんか」がいられる。  
1　…など  
a　Nなど  
①ウエイトレスやいなどのアルバイトをしてをめた。  
②A：このスーツにうブラウスをしているんですけどB：これなどいかがでしょうか。おいだといますよ。  
③デパートやスーパーなどのきなができたために、さなはがしくなった。  
いろいろあるからなものをりげて、としてすのにいる。ほかにもたものがあるというみがある。  
b　V－るなどする  
①ひげをそるなどして、もうすこしだしなみにをけてほしい。  
②にはびつけてするなどしたのですが、あまりきはなかったようです。  
いろいろあることのからなものをりげてとしてすのにいる。ほかにもたことをするというみがある。  
2　…などと  
①をやめるなどとって、みんなをらせている。  
②になればがちすからなどと、のんきなことをっている。  
③でをすなどとって、をたきりってこない。  
ろに「う」などのをすをえて、そののおおよそのをすのにう。のをするだが、ほかにもたようなことをいっているというみがある。  
3　…など…ない  
①あなたのなどたくない。  
②はなどつきませんよ。  
③するなどとっていない。  
④あんなとなどいっしょにきたくない。  
⑤そんなことでいたりなどしないさ。  
⑥にあなたをしてなどいませんよ。  
⑦こんなしいがのようなものになどけるはずがありません。  
⑧こんなになるなどとはえてもみませんでした。  
や、＋などのさまざまなにき、そのにをすをえて、あることがらにするをすとに、「など」によってりてたものごとにするのちやのち、あるいはなちなどをす。えば⑦は「こんなしいはにはけるはずがない」ということとに、をくしてするちもしている。  
4　…など　…V－るものか  
①そんなげたなど、だれがじるものか。  
②おになどえてやるものか。  
③あんなやつをけてなどやるものか。  
④これくらいので、だれがになどするものか。  
⑤のちが、あなたなどにかるものですか。  
や、＋などのさまざまなにき、のをめるとに「など」によってりてたものごとを、るにりないくだらないものだと、するちをす。  
(387)

### 【なに…ない】…ない

1　なにひとつ…ない  
①がしかったので、ほしいものは、なにひとつってもらえなかった。  
②あのでも、ののものはなにひとつれなかった。  
③こんなにしたのに、まともなはつれていない。  
④このには、がいたいとうものはつない。  
⑤なをしてみたが、らのしたはつつからなかった。  
⑥みなさんにおえしなければならないようないはつこりませんでした。  
ものやにして、「しも…ない」「まったく…ない」とくするをす。にするには「だれひとり…ない」というがいられる。  
2　なに…ない  
①はからけいだきなにんで、なになくらしている。  
②このはのあったたちのまりだから、なにねなくにるうことができる。  
③にはないをしているのだが、なぜかたされないちでをごしている。  
④はたちにまれて、ないたされたをっている。  
「なになく」「なにない」などのにしたで、やがまったくなく、たされたであることをす。  
(388)

### 【なにか】か

1　なにか＜物事＞  
①にかっているから、おがすいたらべなさい。  
②このはかでふさいでおいたほうがいいでしょう。  
③かはありませんか。  
④にかいものがぶつかったようなあとがある。  
⑤にかおいできることはありませんか。  
それとはっきりしすことのできないものごとをす。にいることがいが、②の「なにかで」や「なにかが」「なにかを」のようにとにいることもある。くだけたいでは「なんか」となる。  
2　なにか＜様子＞  
①のはかだ。  
②のことがかになってしかたがない。  
③このをていると、いつもかしいちになってくる。  
「なぜそうじるのか、はっきりしたことはからないが、なんとなく」といったをす。くだけたいでは「なんか」となる。  
3　…かなにか  
N／V　かなにか  
①コーヒーかかみませんか。  
②はさみかかありませんか。  
③かかのいものでられた。  
④さんは、をひいたかかでをんでいます。  
やにいて、はっきりとできないがそれにしたものごとをすにいる。「Nかなにか」にくの「が」や「を」はされることがい。くだけたいでは「かなんか」となる。  
4　Nやなにか  
①みのはやかをんでのんびりごします。  
②かばんのにはやかののりがっていた。  
③A：をまれたんですか。  
B：はらされていなかったんですが、たんすののやかがなくなっています。  
にいて、そのものやそれにしたものをすのにいられる。「Nかなにか」が「Nのようなもの」というであるのにして、「Nやなにか」は「N」のほかにそれにしたのものもあることをす。をえるがい。くだけたいでは「やなんか」となる。  
5　なにか＜詰問＞  
①それならなにか。このをめてもいいんだな。  
②はなにか、にがあるといたいのか。  
がりでせられ、をくいつめるのにいる。のちがうことがい。が、しことばで、やのにしている。(389)

### 【なにかしら】

①なにかしらアルバイトをしているので、にはりません。  
②いつもなにかしらおをいております。  
③のことがなにかしらにかかつたので、いでってきた。  
④はなにかしらなをる。  
にそれとはっきりしすことのできないものごとをす。ひとつだけでなくにもいろいろあるというみがある。「なにからぬ」「なにからん」からじたもの。  
(390)

### 【なにかと】

1　なにかと  
①なにかとがくてゆっくりできません。  
②には、いつもなにかとおになっております。  
③のくだとかとです。  
④おっししたばかりでは、かとおしいこととじます。  
⑤のをまとめなければならないので、かとがい。  
いろいろなものやことをになにとせずにとしすときにいられる。いろいろと。あれやこれやと。  
2　なにかというと  
①あのはなにかとうとばかりっている。  
②はかとうと、そのをちだしてくる。  
③そのにはかとうとをされた。  
「かきっかけがあるたびに」というをす。ろにはのをすがき、いつもそのがりされるというになる。「なにかにつけて」ともう。  
(390)

### 【なにがなんでも】がでも

1　なにがなんでも＜意気込み＞  
①あのには、なにがなんでもけたくない。  
②このは、なにがなんでもまでにわらせてもらわなければります。  
③なにがなんでもをしてさい。  
④このはがかかっているんだから、がでもさせなければならない。  
⑤このにちさえすれば、オリンピックにできる。がでもたなければならない。  
ろにしのやをすをって、「がどのようなものであっても、かをやりく、やりいてほしい」というみをす。どんなことがあっても。とも。  
2　なにがなんでも＋マイナス評価表現＜非難＞  
①このは、なにがなんでもひどすぎる。  
②なにがなんでも、そんなはじられない。  
③なにがなんでもこんなさなにそのはだ。  
④こんなのうちにをわらせろなんて、がでもできないです。  
ろにやをすをって、「かのがあることはめたでも、なおかつやにする」というちをす。どんながあったにしても。いくらでも。  
(390)

### 【なにかにつけて】

①なにかにつけてそののことがいされる。  
②にはなにかにつけてにのってもらっている。  
③のくだと、なにかにつけてです。  
④はなにかにつけてのをいふらしている。  
「かのきっかけがあるたびに」「かのときにはず」というをす。ろにはやをすなどがき、いつもそのがりされる、あるいはいつもそのであるというになる。「なにかというと」ともう。  
(391)

### 【なにげない】ない

なにげないN  
なにげなくV  
①ないそのがのをひどくつけた。  
②は、のをしてないをっている。  
③はにもせずにのにしているようにえるが、は、ないりをしてこちらのをうかがっているだけなんだ。  
④はないつきで、みんながびっくりするようなをめた。  
⑤なにげなくのをると、にきながかっていた。  
⑥なにげなく、にかんだをキャンバスにいてみた。  
⑦なくったがをひどくつけてしまった。  
にくえたりしたりせずにするをす。にじて「くえずに」「せずに」「さりげなく」などのになる。なは「なにげなしに」といかえられる。  
(391)

### 【なにしろ】

①なにしろはがいいから、がどんなにってもいかされてしまう。  
②なにしろシーズンですからどのホテルもはれないといます。  
③もっとくおりしようとっていたのですが、なにしろしくてゆっくりにかうもありませんでした。  
④どこにもはないかもしれないが、なにしろをしてみるがある。  
いろいろのことがえられるが、それについてはれないで、とりあえずあることだけをりててするのにいる。「なにしろ…から」「なにしろ…て」のなでをべるにいられることがい。なんにしても。とにかく。(392)

### 【なににもまして】

①なににもましてがです。  
②あなたにおいできたことが、なににもましてしくいました。  
③なににもましてなのは、このプランをにすことだ。  
「ほかのどんなものよりも」「なによりもまずに」のをす。(392)

### 【なにも】も

1　なにも  
　  
a　なにも…ない  
①はくてなにもえない。  
②かばんのにはなにもっていなかった。  
③そのことについて、はもりませんでした。  
④はにみ、していたようなことはもこりませんでした。  
ろにをすをって、「まったく…ない」「…ない」というをす。ものやことがらやのにしていられる。のには「だれも…ない」、のには「どこも…ない」となる。  
b　なにも…ない  
①なにも、みんなので、そんなにずかしいをしなくてもいいでしょう。  
②でもいるのだから、なにもそんなにするはありませんよ。  
③らもがあってったことじゃないんだから、もそんなにることはないじゃないですか。  
④ちょっとされただけなのに、もそんなににすることはないですよ。  
⑤もそこまでにしてあげるはありませんよ。らはもうにをけているたちなんですから。  
⑥もになってしたいとってくることはないだろうに。  
ろに「（そこまで）…しなくてもいい」「（そう）…するがない」などのがき、「にそうするはないのに」というちをす。がやりすぎていることをたしなめたりしたりするにいられることがい。  
c　なにも…わけではない  
①はなにも、あなたがやっていることをしているわけではないんです。ただちょっとしたほうがいいとってしているんじゃないですか。  
②はもこのがやりたくないわけではないのです。はのがあるので、しがほしいとおいしているだけなのです。  
③あなたはがをしているとっているようですが、もはをしているわけではないのです。をんでにをめようとしているだけなんです。  
④A：おさんはのことがいなんでしょう。  
B：をってるの。はもあなたがいでしているわけではないのよ。あなたのことをにかけているから、しているんじゃないの。  
のにしてがどうえているかをけとめて、そのえがはしくないとするのにいる。④のようにののをけるもあるが、くのはのえをしてそれをするのにいる。  
2　…もなにも  
a　Nもなにも  
①で、もなにもてをってしまった。  
②のショックで、のもも、すっかりれてしまいました。  
③ペンももっていなかったので、メモがれませんでした。  
④ももいていないので、どこにすればいいのかからない。  
のにき、「そこでされているものやそれにするものすべて」のをす。ろには「う」「れる」「からない」などのやをすがく。  
b　…もなにも  
A／V　もなにも  
①A：さん、あなたずやるってしてくれたじゃないですか。  
B：するもなにも、はそんなことをったえもないですよ。  
②A：をしたときはかったでしょう。  
B：いもなにも、ぬんじゃないかとったくらいだ。  
③A：にってずいぶんいていましたね。  
B：いたもなにも、のことはんだとっていたんですから。  
のったことをけて、それをくしたり、がえているであるとしたりするにいる。しことばにいるのが。  
3　なにもかも  
①なことはもかもれてしみましょう。  
②もかも、あなたのうとおりにします。  
③あのならもかもせておいてです。  
④でもかもすっかりってしまった。  
ものやことがらにしていられ、とすることなくすべてにわたることをす。。すべて。にするは「だれもかれも」、にするは「どこもかも／どこもかしこも」となる。(392)

### 【なにやら】やら

1　なにやら  
①なにやらないがする。  
②みんなでまって、なにやらをしているらしい。  
③なにやらがりそうなですね。  
④このをいていたら、なにやらしいになってしまった。  
⑤あのは、なにやらのへしをするそうです。  
それとはっきりしすことができないことをす。「なにかはからないが」「かなことはからないが」「ははっきりからないが」といったになる。  
2　…やらなにやら  
　  
Nやらなにやら　  
A－い／V－る　やらなにやら  
①おやらなにやらをちってパーティーをいた。  
②のやらなにやらで、ちいてえるもなかった。  
③っぱらって、きぶやらやらのぎをじたあげく、いびきをかいてんでしまった。  
それのほかにそれとたようなものがいろいろあることをす。くのものやことがらがりまじってしているというみをつことがい。(394)

### 【なにより】

1　なにより  
①をるのがなによりです。  
②がでいるかどうかが、なによりがかりだ。  
③なによりしかったのは、にえたことです。  
④あなたからましのをいただいたことに、なによりいたしました。  
「のどんなものよりも」「なににもまして」というをす。  
2　なによりだ  
①おそうでなによりです。  
②がまったそうでよりです。  
③にるのがなによりのしみだ。  
「のどんなものとくらべてもよい」というをす。をするときは③④のように「なによりのN」というになる。「なによりだ」というがわれるのは、くの、にするできごとをよいことだとするで、にするできごとのにはいない。  
がにできてよりです。  
「なによりの…」というのは、やのことだけでなくのことにしてもいることができる。  
(395)

### 【なまじ】

①なまじいでタクシーにったために、にきまれてかえってしてしまった。  
②のでなまじがすれば、かえってをさせることになりかねない。  
③なまじがあったのがわざわいして、なミスをしてしまった。  
④なまじのができるだけに、こんなはとてもみづらい。  
⑤なまじのはにたないどころかになることもある。  
⑥のではなまじなことはわないがいい。はこのをにべているらしいから、もそのつもりでしなければけてしまう。  
プラスのをもつものがにそのをできないで、にわるをす。ならプラスのをつものが、にマイナスのをもたらしてしまうことをべるにいる。をするときは⑤⑥のように「なまじなNJ「なまじのN」となる。このは「な」といかえることができる。えば⑤は、ならっているがよいがなものでないために、かえってになるという。  
(395)

### 【なら1】

を「なら」がけ、をす。「ならば」のでわれることもある。  
1　Nなら  
①A：めがねはどこかな。  
B：めがねなら、タンスのにいてありましたよ。  
②A：アルバイトをうにはがかかりますよ。  
B：おのことなら、しなくていいですよ。とかなりますから。  
③A：さんませんでしたか。  
B：さんなら、にいましたよ。  
④ならばありますから、ごなく。  
⑤のことなら、もうにえてあります。  
のったことやこれまでのにあがっていたこと、あるいはそののからできることをとしてりてて、それにしてをめるにいる。からちされたことがらをとしてりげるによくわれる。をす「は」にいかえられることがいが、「なら」には「Nがということならば」といったながあるのにし、「は」にはこのようながない。そのため、いかえたはがわる。をす「Nだったら」とで、いかえが。  
2　NならNだ  
①ならやっぱりだ。  
②ストレスならゴルフにる。  
③なら、なんといってもここのがだ。  
④カキならがだ。  
「Nなら」のには「Nだ」の「Nにる」「Nがだ」「Nがいい」などがいられる。「Nなら」でのをし、そのでものいものをべるのにいる。このは「Nは」でいかえてもきなのいはない。  
3　…（助詞）なら  
①あのとならしてもいい。  
②はだめですが、でならができます。  
③あとだけならできます。  
④A：のはいかがですか。  
B：ゆっくりとならけるようになりました。  
⑤のならがあります。  
、、あるいは＋などをけて、「のはそうでないが、Xについてなら／のならYがする」というをす。Yにはたいていましいことがらがき、それをさせることがなXをにぶようなにいる。をす「は」とているが、「なら」はをけることができるのにし、「は」ではそれがである。  
ならがいいですか。とならしてもいいですか。  
はがいいですか。とはしてもいいですか。  
(396)

### 【なら2】

N／Naなら  
N／Naだった（の）なら  
A－い／A－かった（の）なら  
V－る／V－た（の）なら  
の・タをけ、「・がそのようであれば」というをす。「のならば」「のなら」「ならば」のもわれる。しことばでは「の」は「ん」となることがい。「の」のによるのいは、はっきりとはめられないがいが、「の」があるは、きのやなをけて「あなたがそううなら」「それがならば」「がそのようであれば」というをすのにし、「の」がないは、「にそのようなは」「そうするは」というをすがある。、ナをけるは「の」はわれないことがい。、イにく、「（の）なら」と「のだったら」はで、いにいかえがだが、「のだったら」の「の」はできない。  
っているだったらえてほしい。  
っている（の）ならえてほしい。っているのだったらえてほしい。  
1　…（の）なら＜仮定条件＞  
①A：をひいてしまいまして。  
B：ならくってんだほうがいいよ。  
②のことがそんなにいなられたらいい。  
③A：がずきずきむんです。  
B：そんなにい（の）ならくったほうがいいですよ。  
④きたくない（の）ならやめておいたらどうですか。  
⑤をっている（の）ならにえてほしい。  
⑥にく（の）なら、このをしてきてくれますか。  
⑦あなたがそんなにする（の）ならあきらめます。  
⑧A：ちょっといにってくる。  
B：いにく（の）ならついでにおしょうゆをってきてちょうだい。  
⑨A：ではもうにったそうですよ。  
B：でにったのなら、のりもですね。  
⑩がからこのでっていたのなら、にはのアリバイはないことになる。  
の・タをけ、「がそのようであれば」「それがであれば」というのをす。のったことやそののをまえて、のやをべたり、に・などをしたりするにいる。こるのがのことがらや、がてばにこることがらについてべるようなには「なら」はえず、かわりに「たら」「ば」「と」などをわなければならない。また、になるをべるはえず、、、、、、など、しのをすをわなければならない。  
がるならがきます。がるならがぬかります。  
が｛たら／れば／ると｝がきます。が｛ったら／ると／れば｝がぬかります。  
≪からがるといて≫がる（の）なら、をってこう。（）  
「たら」「ば」「と」では、のがにしてこり、そのとしてろにべることがらがするというにわれるのにして、「なら」は、のことがらのがまずりって、そのあとにのことがらがくことをすにもうことができる。  
イタリアにったらイタリアをいなさい。（イタリアにってからイタリアでう）  
イタリアにくならイタリアをいなさい。（イタリアヘくにのでう）  
2　…（の）なら＜反事実＞  
①をくれるのなら、もうしいにしてほしかった。  
②にていたのなら、してくれればよかったのに。  
③あいつがるのならこのパーティーにはなかったんだが。  
④にする（の）ならいスーツをうのだが。  
「X（の）ならY」のY、あるいはXとYがにすることがらをすの。は、たにXをったようなに、「XをっていればYをったはずだが、それをらなかったのでわなかった」というので、Xが、Yがにすることがらをす。は、「XをうはYをうのだが、にはXをわないのでYもわない」というで、XもYもにすることがらをす。①～③が、④がのである。えば②は、がにていたというをって、「それならをしてくれればよかったのに」と、がしなかったことをしたりしたりするちをすもので、Xが、Yがをす。④は、「にするであればいスーツをうのだが、にはにはしないのでいスーツはわない」というので、XもYもにすることがらをす。①～④は、「たら」「ば」をったとはなるをし、いかえはである。「たら」「ば」をいたは、XもYもににすることがらをし、しかも、ⅩはYよりにこるものでなければならない。これにし、①～③はYのみがにすることがらをし、④は、XYともにすることがらをすが、にそれがしたのは、「いスーツをってからにする」という、YのにXがこるようなをしている。このようなは「なら」でしかすことができず、「たら」「ば」でいかえることはできない。  
、にていたのならしてあげたのに。（「、にていたというをらなかったのでしてあげられなかった」という。XがでYが）  
、にて｛いれば／いたら｝してあげたのに。（「、にていなかったのでしてあげられなかった」という。XもYも。）  
にるならいスーツをったのだけど。（「にないのでいスーツをわなかった」という。XもYも。したののはYのにX）  
いスーツをって｛いれば／いたら｝にたのだが。（「いスーツをっていなかったので、になかった」という。XもYも。したののはⅩのにY）  
3　Vーる（の）なら…がいい  
①をうならがいい。  
②をするなら、このレストランがいいよ。  
③をうならアメリカかカナダにすることをすすめたい。  
④A：をしたらしたいとっているんだ。  
B：するのならオーストラリアがいいよ。  
「がいい」「をすすめる」などのがき、あることをうによい・をめるようなにいる。・コマーシャルのキャッチフレーズでよくわれる。ののではなくなについてべるには「の」はかないのがで、「Nなら…がいい」「Nは…がいい」のようなをす「なら」「は」をいたにいになる。  
をうならがいい。  
ならがいい。  
はがいい。  
4　V－る（の）なら…しろ／…するな  
①もやるならまでにやれ。  
②ときうならにきいなさい。  
③するならいいなちではするな。  
④のことをうならにえばいい。  
⑤きたいのならきなだけけばいい。  
「なら」のにじがき、あるをとるに、それをどのようにうべきかをするにいる。ろには・ののほか「すればいい」などやめのがく。④⑤は、「そうしたければきなようにすればいい」というの。「に…する」というでは「なら」のに「の」がつかないことがいが、ののやをけて、「そういうつもりなら」「そうしたいのなら」というのは、⑤のように「のなら」のもわれる。  
5　…（の）なら…で  
　  
NaならNaで　  
A（の）ならAで　  
V（の）ならVで  
①ならで、そうってくれたらよかったのに。となってはすぎるよ。  
②がないならないで、とかなるものさ。  
③をめる（の）ならめるで、それからあとののりぐらいえておくべきだった。  
④くなる（の）ならくなるで、ちゃんとぐらいしてくれればいいのに。  
⑤かない（の）ならかないで、ちゃんとわりのだけはしておいたほうがいい。  
「なら」のにじをりし、そのようなならそれでもわないとめたで、そのどういうをすべきであるかをべたり、それをしなかったことをしたりしたりするをす。  
6　…（の）なら…と  
　  
NならN（だ）と　  
NaならNa（だ）と　  
A（の）ならAと　  
V（の）ならVと  
①ならともってらせておいてください。  
②そうならそうとってほしかった。  
③ならだとはっきりってくれればいいのに。  
④きならきとはっきりっておけばよかった。  
⑤がい（の）ならいとってくれればよかったのに。  
⑥これからはない（の）ならないとちゃんとにしてさいね。  
⑦く（の）ならく、かない（の）ならかないとちゃんとってくれなければるじゃないですか。  
じをりし、ろに「う」「する」などをすをけて、やがのにしてはっきりをすべきであるというしのをす。、なをしなかったことをしたり、すべきであったとするにう。④のようにがなをしなかったことをやむちをすにもいられる。  
7　…（の）ならべつだが  
　  
N／Na　ならべつだが　  
A／V（の）ならべつだが  
①そんなにがつまらない（の）ならだが、のえについてもしてみてはどうだろうか。  
②やめたい（の）ならだが、もしけたい（の）ならもうしなところからししたがいい。  
③でるがあるのならだがいいなちでやっているならやめたほうがいい。  
④のことならはだが、のことにそんなにをんでもがないだろう。  
⑤どうしてもならはだが、してのにとどまるのもつのえだ。  
なったつのをして、ののはてはまらないことだがときし、もうのにしてのしのをうにいる。や・などにするきけをすがくことがい。④⑤のように、「…ならはだが」のでいられることもある。  
8　…というのなら  
①A：はほかにがあっておできないのですが。  
B：たくないとうのならてもらわなくてもいい。  
②をもつとうのなら、してせてみてはどうですか。  
③がだとうのなら、もっとをにしなくてはだめだ。  
④にきまっているというのならあんななはできないはずだ。  
これまでののをまえてそれにするしのをすにいる。にするや、のや、しのをすがく。「ということなら」ともう。  
9　…ということなら  
①だということならさせてくれるはずがない。  
②たちでやるということなら、やらせてみてはどうか。  
③にできないということなら、ほかのにむことにしよう。  
のをまえてそれにするしのをす。は「というのなら」とだいたいじだが、「というのなら」はのののあるいはのをけて「あなたがそううのなら」「がそううのなら」ののでうことができるが、「ということなら」は、のでわれる。  
10　どうせ…（の）なら⇾【どうせ】2  
　  
11　…ものなら⇾【ものなら】1  
12　V－ようものなら⇾【ものなら】2  
(397)

### 【なら3】

N／Na（だった）なら　  
A－い／A－かった　なら　  
V－る／V－た　なら  
　「なら2」となり、「のなら」のにならないもの。「なら」または「ならば」のでわれる。「N／Naだ」のバにたるが、やイにもき、それぞれのとタをける。・イにくは、「ば」「たら」でいかえてもきなのいはない。「たなら」のは「たら」をしたややめかしいい。  
1　N／Na　なら（ば）  
①10ならのりきになる。  
②まわりがもうしかならばちいてできるのですが。  
③ならこんなにいではりられません。  
④そのがならなことになりますよ。  
⑤があなたならそんなふうにはえなかったとう。  
⑥、おならハイキングにきましょう。  
「N／Naだ」のバで、「もし…であれば」「かりに…であるは」といったのや「がなら」というをす。まったきことばでは「である」のバ「であれば」もわれる。「だったら」でいかえが。をす「なら1」とのいは、「なら1」はのみにいて「Nがであれば」というをすのにし、このはであるかどうかがのことがらや、にすることがらをにそうだとすればというをす。だが、どちらのかがむずかしいもい。  
2　NがNならNはNだ  
①がのならはのだ。  
②パリがのなら、ロンドンはのだ。  
③がのならはのだ。  
なをもつやについて、それぞれをさせてべるのい。それぞれをのことばにたとえてうにいるもので「ーを…とするとすれば－は…とできる」という。  
3　NがNならNもNだ  
①がならもだ。  
②がならもだ。  
③がならもだ。  
④アメリカもアメリカならもだ。  
に「」「」のようにをなすのや・をすがき、そのやのやりやが「どちらもにひどい」「まったくあきれただ」といったマイナスをすにいる。・・・といったましくない・をもつペアにしている。④のように「N1もN1ならN2もN2だ」のもわれる。  
4　…なら（ば）  
　  
A／V　なら（ば）  
①ものがい／かったならばのはだ。  
②このをす／したならばもう2とにはえないだろう。  
③このままがく／いたならはになる。  
④1がらない／らなかったならばになる。  
イ、のまたはタをけ「もしそのようながしたは」というをす。にがされるをして、それがしたにすることがらをしてべるの。「するなら」「したなら」のどちらをってもきなのいはない。ないで、のなどでいられる。「ば」「たら」でいかえがで、ないでは、こちらをうことのほうがい。  
①ものが｛ければ／かったら｝のはだ。  
②このを｛せば／したら｝もう2とにはえないだろう。  
③このままが｛けば／いたら｝はになる。  
④1が｛らなければ／らなかったら｝になる。  
5　…たなら  
　  
N／Na　だったなら　  
A－かったなら　  
V－たなら  
①がのだったなら、あなたをけてあげられるのに。  
②もうしがかったならかったのに。  
③ることがあったならいつでもにい。  
④もしもにがあったならをにかけまわりたい。⑤≪≫あのをえたならせがっている。  
「たら」をした、ややないで、や、をすにいられる。のなどでよくわれるが、のしことばでは「たら」をう。  
6　V－るなら＜観点＞  
①をらないのからるなら、しおおげさなじがするかもしれない。  
②にわせるなら、このはあまりいとはえない。  
③とべるならレベルはずいぶんしたといえるだろう。  
④をくなら、のはしいとう。  
「る」や「う」「べる」などののに「なら」がくなで、にくやがどのようなからべられているかをす。ややきことば。「たら／と／ば」にものがあり、たいていこれらでいかえが。この「…によるなら／をにするなら」などがある。(402)

### 【ならいい】

N／Na　ならいい  
A／V（の）ならいい  
①おさんがならいいよ。くにってあげなさい。  
②がそんなにいならいいよ。などかないでしたらいい。  
③A：いけど、そのはあまりじゃないんだ。  
B：やりたくない（の）ならいいよ。のにむから。  
④それほどにう（の）ならいいじゃありませんか。やりたいことをやらせてあげなさいよ。  
それからののやをまえて、「そのようななら、それでもわない／…してもいい／…しなくてもいい」というしのやのをす。えば③は「やりたくないならやらなくてもいい」という。  
(404)

### 【ならでは】

Nならでは  
①ならではのかいいがしかった。  
②ならではのなちをしていた。  
③ならではのすばらしいをおしみください。  
④あのならではじられないすばらしいだった。  
やなどをすをけて「Nだからこそこれほどすばらしい」「Nにはできない」「Nでなければありない」といったをす。「NならではのN」のようなでいられることがいが「Nならでは…ない」のもある。Nについてのいをし、やなどの・のキャッチフレーズでよくわれる。  
(404)

### 【ならない】

1　V－てならない⇾【てならない】  
2　V－てはならない⇾【てはならない】  
3　V－なくてはならない⇾【なければ】2  
4　V－なければならない⇾【なければ】2  
(405)

### 【ならびに】びに

NならびにN  
①のならびにがにした。  
②このはにのびにをしている。  
③ごののならびにのさまにからおいしげます。  
④にはならびにがされることになっている。  
⑤に、ならびにをしてさい。  
のことがらとのものをさらにべるい。きことば。あいさつなどのかたいしことばでもわれる。(405)

### 【なり1】

1　V－るなり  
①にるなりのにじもっててこない。  
②ちがるなりまいがしてれそうになった。  
③うなりをしてくれなどとうのでいた。  
をすにいて、「そののに」というをす。「…したとたんに」「…するやいなや」。そののにしないがこるにいられる。  
2　V－たなり  
　  
a　V－たなり（で）  
①ったなりこうともしない。  
②うつむいたなりりこんでいる。  
③ったなりでじっとこちらのをっている。  
あるがそのまましてがしないことをす。「…したまま」にいかえられる。めかしいい。  
b　V－たなり  
①をたなりもってこなかった。  
②おをしたなりもわずにをてった。  
③のにあって、はされたなりのめどもついていない。け  
あるがこった、ならそれにきいてこるとわれるにならないでそのままもこらないがくことをす。「…したまま」にいかえられる。めかしいい。(405)

### 【なり2】

1　…なり  
　  
Nなり　  
V－るなり  
①かおなりおちしましょうか。  
②そんなにしいんだったらになりってもらったらいいのに。  
③そんなにならにするなりしてみてはどうですか。  
④にをるなりしたらもっとちつくといますよ。  
やなどのいろいろなにいて、いくつかあるのからつのものをとしてしすのにいる。  
2　V－るなりV－ないなり  
①くなりかないなりはっきりめてほしい。  
②やるなりやらないなり、はっきりしたをとらなければならない。  
③るなりないなりをきちんとしてもらわなければります。  
ののにをけて、どちらかのをぶというをす。ろにはどちらをするかをにすべきである、してほしい、したらどうかなどのがく。をるちがまれるのでいをあやまるとになる。  
なさるなりなさらないなりをおらせください。  
なさるかどうかをおらせください。  
3　…なり…なり  
NなりNなり  
V－るなりV－るなり  
①のなりなりにしなければならないだろう。  
②なりなり、きなところですればいい。  
③るなりめるなり、はっきりとしたをとらなければだめだ。  
じグループにするものをつげ、そのどちらかをぶというをす。そのふたつのものだけでなくはほかにもあるというみがある。  
4　…なりなんなり  
N／V　なりなんなり  
①チューリップなりなんなり、しつをってきてさい。  
②ここはがいますからコーヒーなりなんなりきなものをしてさい。  
③するなりなりしてしをめたほうがいい。  
④このはそうだから、カーペットをれるなりなりしなければいけないね。  
それにするものやことがらならでもというをす。をすは「…なりどこなり」というがある。  
なりどこなり、きなところへってしまえ。  
(406)

### 【なり3】

1　…なり  
a　…なり  
Nなり  
A－いなり  
①なりにはしてみましたが、がびませんでした。  
②このはだけにせておくのではなく、たちなりのをえなければならない。  
③らはがいなりによくってやってくれる。  
④がのは、たちなりにえて、をっていたようです。  
⑤このはなりにんだのものです。  
それのであることをす。そのものごとにやがあることはめたでかプラスのをするときにいる。  
b　…なり　  
Nなり　  
V－るなり  
①はのうなりになっている。  
②そのなら、なりにまっすぐくとにあります。  
「それにらわないでってく」というをす。「うなり」「なり」などのしたでしかいない。「うなり」とじで「いなり」というもある。  
2　…なら…なり  
　  
NならNなり　  
NaならNaなり　  
A－いならA－いなり　  
V－るならV－るなり  
①ならなりのがあるはずだ。  
②いならいなりにやってみればいい。  
③ならなりにしくきられるがある。  
④のをけれられないなら、けれられないなりにもっとをってすべきだ。  
⑤があるならあるなりにごともつきまとう。  
⑥しいビジネスをめるならめるなりのというものがだ。  
じをりして、「そこでべられているものごとにした」「それにふさわしい」といったをす。そのものごとにのやあるいはなどのがあるというみがあり、「それはめたでそれの」というをす。ろには、そうするはずだ、そうしなければならない、そうしてほしいなどのがくことがい。「…ば…なり」となることもある。  
があればあるなりにをわなければならない。  
3　には…なり  
NにはNなり  
V－るにはV－るなり  
①いにはいなりのえがあるだろう。  
②にはなりのがめられている。  
③ちにはちなりのがある。  
④このにはこのなりに、いろいろなやさがある。  
⑤わるにはわるなりのというものがある。  
じやなどをりす。そのものごとにのやあるいはなどのがあるというみがあり、「それをめたでそのものごとにの、それにふさわしい」というをす。  
4　NはNなり  
①らはらなりにいろいろしているのだから、それはめてやってほしい。  
②はなりのやりかたでやってみたい。  
③はなりにえてをしつけてきたつもりです。  
④いはいなりに、をたとれたいやすさがある。  
じをりす。そのやものにやがあるというみがあり、「それをめたでそれにした、それにふさわしい」というをす。  
5　それなり  
①さなだがそれなりのはげている。  
②だというならそれなりのがあるのだろう。  
③たちもそれなりにをわせてっている。  
④をすればそれなりのはあがるはずだ。  
それにやがあるとうみがあり、「それはめたでそれの」というをす。(407)

### 【なりと】

1　Nなりと（も）  
①よろしかったらのなりともいてさい。  
②ここにおかけになっておなりとしがっていらしてさい。  
としてにいて、いくつかあるもののうちつをとしてしすのにいる。  
2　疑問詞（＋格助詞）＋なりと  
①おみたいななやつはどこへなりとってしまえばいい。  
②だれとなりと、きなとになるがいい。  
③なんなりとおみのものをおちしますのでおっしゃってさい。  
④ごがありましたら、どうぞせずになりとおしつけさい。  
「どこへなりと」「だれとなりと」「なんなりと」などのにしたで、なんでもきなようにぶことができるというをす。(408)

### 【なる】

1　…なる　  
N／Na　になる  
A－くなる  
V－ようになる  
①がりされてがになってしまった。  
②はきすぎてになった。  
③このあたりは、はかなところだったのですが、ずいぶんにぎやかになったものですね。  
④をんでがくなりました。  
⑤がされたためにがえて、だんだんみにくくなっています。  
⑥のがあって、ようやくがめるようになりました。  
⑦はだったが、はよくしゃべるようになりました。  
⑧とにをするようになって、ずいぶんいろいろなことをびました。  
ものごとがすることをす。「する」はきかけるがするなをすが、「なる」はそのもののなをす。⇾【ように3】6  
　  
2　Nからなる  
①このは4つのからなっている。  
②このは5のからなっている。  
③のはととからなる。  
④3つのなからなるをした。  
をけて、「それによってされている」というをす。③のように「XとYとからなる」というもある。にいられるときは「…からなっている」となることがいが、まったきことばでは「…からなる」もである。をするときは「…からなるN」というがいられる。  
3　…ことになる  
①このもで4ということになりますね。  
②とあのはいとこどうしということになる。⇾【ことになる】  
4　R－そうになる  
①られてきそうになった。  
②このいをかぐとくしゃみがそうになる。⇾【そうだ2】2b  
　  
5　…となる  
　  
N／Na　となる  
①はまだ20なのに、もうすぐのとなります。  
②はにをてき、ついにそこはとなった。  
③そのにはながあることがらかとなった。  
④このはにはなとなった。  
⑤は、のしいはれとなった。  
やナをけて、そこでされたものやにものごとがするをす。なまでしてしまうというみがあるため、「にぎやか」「」「」のようなのめにくいはいられにくい。「…となる」がいられるものはすべて「…になる」にいかえられるが、そのはできないこともある。  
にぎやかとなった。  
にぎやかになった。  
6　…となると  
⇾【となると】1  
⇾【となると】2  
7　Nともなると  
①3ともなるとだいぶかくじられるようになります。  
②ともなると、あるはでおいをかせがなければならない。⇾【ともなると】  
8　…になる  
　  
Nになる　  
V－ることになる  
①から54はになります。  
②のにすることになりました。  
のについてらかのやがなされたり、あるがじることをす。がしたかはとせず、のりきで、あるいはにそのがじたというあいをえる。のように「N」がわれることもある。  
は5からになりました。⇾【ことになる】  
9　Nになると  
①ならえられるが、になるとくがでない。  
②ではうまくいったのに、いざになるとがってしまいました。  
「あるレベル、あるにったときに」というをす。「Nとなると」というでもよい。  
10　おR－になる  
①はおりになりました。  
②おかけになっておちさい。⇾【お…になる】  
(409)

### 【なるたけ】

①このはなるたけくげてさい。  
②れやすいだから、なるたけをけてんでね。  
「できるだけ」「なるべく」のくだけたい。(411)

### 【なるべく】

1　なるべく  
①はなるべくめにってきてさいね。  
②はだから、はをしないでなるべくをめておくようにしよう。  
③このには、なるべくくのにしてもらいたい。  
④このはれやすいから、なるべくしてりってさいね。  
⑤かなりいをくときましたので、はなるべくなくするようにしました。  
「なり」「できるだけ」というをす。ろには・・などのがくわれる。  
2　なるべくなら  
①なるべくなら、はくってみたい。  
②なるべくなら、だれにもわずにろうとっていたのですが、りいにつかってをかけられてしまいました。  
③このはなるべくならにられたくないので、っていてさいね。  
④なるべくならをわずにしいでしたいものだ。  
「ならば」「できることなら」というをす。ろにはやをすがくことがい。(411)

### 【なるほど】

①いいだとはいていたが、なるほどサービスもいいしもうまい。  
②あなたのうことはなるほどもっともだが、のもえてほしい。  
③なるほど、というのはしいだ。  
④なるほど、にはいていましたが、にってみるとになものなのですね。  
⑤A：きのうはしぶりにのにってきたよ。  
B：なるほど。だからあんなにしそうにしていたんですね。  
⑥A：このコピーは、がでできるようになっております。  
B：なるほど。  
A：それから、のもになっております。  
B：なるほど。  
からってきたやがしていることがそのりであるとするちをす。またがっていたがしいことをしたり、にがえられてしたりするちをすにもいる。⑥のような、「」よりはいちで、にするやをすづちとしているもあるが、このはにこえるもあるのでにしてはわない。  
(411)

### 【なれた】

R－なれたN  
①いなれたをう。  
②もみれたでらしたい。  
③そのベテランのは、いれたにちたでをしていた。  
④はでしれているから、がらない。  
のにき、そのをたびたびなってしていることやそのことにれしんでいることをす。「…なれた」というでをするためにいられることがいが、④のように「…なれている／なれていない」というでのになることもまれにある。(412)

### 【なれば】

1　…となれば⇾【となれば】  
2　…ともなれば⇾【ともなれば】

### 【なんか】か

1　なんか＜物事＞  
「なにか」のくだけたいで、しことばにいる。⇾【なにか】  
a　なんか  
①A：なんかたべるものない？  
B：てみたら？なんかっているとうけど。  
②にはなんかってやろうとっています。  
③えなかったことは、きっとかでうよ。  
④かながこえませんでしたか。  
⑤この、かわない？  
それとはっきりしすことのできないものごとをすのにいられる。  
b　なんか＜様子＞  
①としているとなんかほっとしたちになる。  
②あののっていること、なんかだといませんか。  
③はたちがなんかにかですね。なにかいたずらをしているんじゃありませんか。  
④なんかだなあ、このは。にたことがあるようながしてならない。  
「なぜかわからないが」「なんとなく」といったをす。  
c　…かなんか  
　  
N／A／V　かなんか  
①のみはかなんかかない？  
②このはかなんかがぶつかってできたものでしょう。  
③おいにはかなんかをってくことにしよう。  
④はがいかなんかでとてもしそうです。  
⑤A：はどうしたの？  
B：れものをしたかなんかで、りにっています。  
それとはっきりしすことはできないがそれにしたものをすにいる。  
d　Nやなんか  
①スポーツはきですが、やなんかのはあまりではないんですよ。  
②やなんかでをするときはいつもこのをっていきます。  
③このはやなんかにはわないでさいね。  
④でしたときは、っていたチョコレートやなんかをべてをちました。  
そのものやそれにしたものをすのにいられる。  
2　なんか  
　  
a　Nなんか  
①おはワインなんかきで、よくんでいます。  
②なんかはくのでうことができます。  
③さんやさんなんかはこのにのようです。  
④やなんかはっているんですが、がいないのでせないんです。  
いろいろあるなかからなものをりげてとしてす。ほかにもたものがあるというみがある。「など」のくだけたいでしことばにいる。  
b　V－たりなんかして  
①みのはをんだりなんかしてごします。  
②どうしたの？ひとりでったりなんかして。  
③おさんたらにりしたりなんかして。このしれてるのかな。  
いろいろあることのなかからなものをりげてとしてす。ほかにもたことをするとうみがある。「など」のくだけたいでしことばにいる。  
c　なんか…ない  
①おがないから、なんかにできない。  
②あんなとなんかもききたくない。  
③そんなばかげたことなんかえたこともありません。  
④こんないになんかだってまりたくない。  
⑤こんなのいは、のでをんでなんかいないで、をしましょうよ。  
⑥あんなちっともおもしろくなんかないよ。  
や、＋などのさまざまなにき、そのにをすをえる。そこでされたことがらにするをすが、それとに「なんか」によってとりたてたものごとにするのちやのち、あるいはなちなどのがめられる。「など…ない」のくだけたいでしことばにいる。(412)

### 【なんか…ものか】

…なんかV－るものか  
①になんかってやるものか。  
②がそんななんかじるものか。  
③あんなとなんかとをいてやるものか。  
④あんなひとにえてなんかやるものか。  
⑤でもしくなんかあるものか。  
⑥A：いかがでしたか。おもしろいがけたでしょう。  
B：おもしろくなんかあるものですか。すごくくだらないでしたよ。  
・・や＋などのさまざまなにき、にべることをくするとに「なんか」によってりてたものごとを「げたもの、るにりないもの、とんでもないこと」とするちをす。「など…ものか」のくだけたい。(414)

### 【なんだか】

①このあたりはなんだかがいね。  
②あなたとしていたら、なんだかしがになってきた。  
③はなんだかのことをけているようながする。  
「やがであるかからないが」「どういうわけか」というをす。「なぜか」のくだけたい。(415)

### 【なんだろう】

⇾【でなくてなんだろう】

### 【なんて1】て

1　なんて  
　  
a　なんてV  
①よくこえないのですが、あのはなんてっているのですか。  
②このはていてあるのかからない。  
③このことをったら、おさんてうかしら。  
ろに「う」や「く」などのをけて、そのがであるというをす。「なんと」のくだけたい。  
b　なんて（いう）N  
①さっきたはなんていうですか。  
②さんはていうにおめですか。  
③あの、なんてだったかしら。  
④、なんてにんでいるんだっけ。  
ものやのをくのにいる。「なんというN」のくだけたい。  
c　なんて（いう）Nだ  
①あなたっては、なんていうなの。  
②あれだけのを1でづけてしまうなんて、ていうだろう。  
③でをってしまうなんて、なんてだ。  
④をしにするなんて、あなたってなんてなの。  
「なんというNだ」のくだけたいで、のすごさにいたりあきれたりしたちをす。  
d　なんてことない  
①これくらいのけが、なんてないさ。  
②こののはてない。1でくさ。  
③てないのようだけれど、やってみるとにがかかる。  
「したことではない」というをす。「なんということはない」のくだけたい。  
2　なんて…んだろう  
　  
なんて…Nなんだろう　  
なんてNaなんだろう　  
なんてA－いんだろう  
①ここはなんてしいところなんでしょう。  
②のはなんてすばらしいんだろう。  
③このはてかわいげのないなんだろう。  
④のにをえるとは、てななんだろう。  
いたりあきれたりすばらしいとったりしたことを、のちをめてするのにいる。なんてまあ。「なんと…のだろう」のくだけたい。(415)

### 【なんて2】

1　Nなんて  
①あなたなんてい。  
②そんなげたなんて、だれもじませんよ。  
③あののうことなんて、にまっています。  
「げたことだ」「くだらないことだ」とするちをってとしてりてるのにいる。くだけたしことば。  
2　…なんて  
①みんなにはをれなんてったけど、そうったがしてしまった。  
②がはだなんていしてっている。  
③がをだましたなんてっているらしいけど、のほうこそをついているんです。  
④あやまればしてもらえるなんていえはてなさい。  
⑤まさか、にめばをってもらえるなんてっているんじゃないでしょうね。  
ろに「う」「う」「える」などのやそれにするをえて、やのをすとに、そのをにったりしたりするちをす。「などと」のくだけたい。  
3　…なんて  
　  
N／Na（だ）なんて　  
A／V　なんて  
①そろってだなんて、うらやましいですね。  
②あなたにそんなことをうなんて、にひどいだ。  
③こんなところであなたにうなんて、びっくりしましたよ。  
④こんないでまじめにくなんてらしい。  
⑤あんなけがきたいなんて、にきまっているでしょう。  
⑥こののをてくなんて、をてにくようなものだ。  
ろに「うらやましい」「ひどい」などのをすをいて、そののとなることがらをす。だとくちや「くだらないものだ」「げただ」とするちをうことがい。くだけたしことば。(416)

### 【なんでも】

1　なんでも  
①ほしいものはでもにる。  
②でもきなものをしてさい。  
③あのはのならでもっている。  
「どんなことでも」「どのようなものでも」「すべて」のをす。  
2　なんでも…らしい／…そうだ  
①でもはもうすぐをやめるそうですよ。  
②うわさによると、でもらはにっしたというだ。  
③でもこのは、がしたあとだということです。  
④でもこのあたりにはがるっていうですよ。  
ろに「らしい／そうだ／というだ／ということだ」などのをすをって、からいたをあまりをたずにえるのにいる。  
3　なんでもない  
　  
a　なんでもない  
①あののにべればこんなはでもない。  
②でもないことにそんなにぎするな。  
③こののはにとってはでもないことです。  
④A：がいけどでもいんじゃないですか。  
B：いいえ、でもありません。です。  
「にどうこううほどのではない」「したではない」というをす。  
b　Nでもなんでもない  
①でもでもない。ただけたくてんでいただけだ。  
②こんなものはでもでもありません。だれだってしすればれます。  
③おとはもうでもなんでもない。とのにをさないでくれ。  
④はでもなんでもない。ただのだ。  
をけて、「そうではない」ということをしてす。くの、「そうである」ことのがプラスのをち、それをくすることによっていマイナスのをする。  
4　なにがなんでも⇾【なにがなんでも】  
(417)

### 【なんと】と

1　なんと  
①ごはなんとおっしゃっていましたか。  
②なんとってなぐさめてよいかかりません。  
③にはといてありましたか。  
④らにはとえればいいんでしょうか。  
「どのように」「どんなふうに」の。ろには「う」「く」などのがき、そのがであることをす。  
2　なんと…のだろう  
　  
なんと…Nなのだろう　  
なんとNaなのだろう　  
なんとA－いのだろう  
①なんとしいなのでしょう。  
②のちができなかったなんて、はなんとだったのだろう。  
③でにるとは、となたちなのだろう。  
いたりあきれたりすばらしいとったりしたことを、のちをめてするのにいる。なんてまあ。きことばにいる。しことばでは「なんて…んだろう」となる。(417)

### 【なんという】という

1　なんというN  
①あのはというですか。  
②そのいのはというですか。  
もののをねるにいる。くだけたいでは「なんていうN」となる。  
2　なんという＋連体修飾句＋N  
①なんというなやつだ。  
②いのになんというななのだろう。  
③がつらいならやめてしまえだなんて、なんといういやりのないことをってしまったのだろう。  
④たちまでしにするなんてというならだろう。  
ろにをったがき、いたりあきれたりすばらしいとったりしたことを、のちをめてするのにいる。「なんという…のだろう」というになることがい。  
3　なんというNだ  
①こんなきなをでちげられるなんて、というだ。  
②のうちにして、をってしまうなんて、なんということだ。  
③ということだろう。がっにまっている。  
④でじバスにりあわせるなんて、というだろう。  
いたりあきれたりすばらしいとったりしたことを、のちをめてするのにいる。  
4　なんということもない  
①ということもなく、がやかにぎてく。  
②にということもないなだ。  
にりててうほどのだったところはないというをす。(418)

### 【なんとか】とか

1　なんとか＜意志的＞  
①なんとかしてさんをけそう。  
②このゴミのをくなんとかしないといけない。  
③くなんとかをたないと、なことになりますよ。  
④おしいことはしていますが、とかまでにげていただけないでしょうか。  
⑤A：あしたまでにげるのはちょっとですね。  
B：そこをとかできないでしょうか。とかおいしますよ。  
「なんとかする」「なんとかをつ」など、ろにをじてかをするというのをえて、「らかのをくして」というをす。①のように「なんとかして…する／しよう」というをとると、しいををくしてするというになる。また、④⑤のように、ろにをすをうと、しいであることはかっているがをっておいしているというみがじる。  
2　なんとか＜自動的＞  
①だがなんとかべていくことはできる。  
②みなさんのごでなんとかここまでってやってれました。  
③がをしてくれるとうから、とかだけはまぬがれることができそうだ。  
ろにをすをって、しいであるが、あるいはにのくであるとはえないが、ようやくかをうことができるというをす。「どうにか」「やっと」とのいについては「やっと2」を。  
3　なんとかなる  
①そんなにしなくてもなんとかなりますよ。  
②のり、とかならないかしら。  
③これだけえがあればとかなるだろう。  
ましくないをましいにえることができる、あるいはとはえないがやっていくことができるというをす。(419)

### 【なんとかいう】とかう

1　なんとかいう　  
a　なんとかいう  
①のうことはこうとしないから、あなたからとかってやってさい。  
②っていないでとかったらどうなんだ。  
をじたりんだりするにい、でもよいからとにかくかえと、くをめることをす。しことば。  
b　なんとかいうN  
①のとかいうからがありましたよ。  
②さんがとかいうにっていただろう。あれはなんていうだったかな。  
のはっきりからないやものをすのにいる。しことば。  
2　…とかなんとかいう  
　  
a　NとかなんとかいうN  
①ポエムとかとかいうでうとっていました。  
②とかとかいうのがたずねてきましたよ。  
あるやがいたるが、かにそれだとがてないことをす。  
b　…とかなんとかいう  
①あのはがいとかなんとかってめたそうだ。  
②はをったとかとかっていたようです。  
③やりたくないとかとかっているようだが、はやってみたくてしかたがないんだ。  
のがかにそれであるとがてないときや、それにもいろいろなをしていてそのだけにできないことをす。(419)

### 【なんとしても】

①なんとしてもにはけたくない。  
②なんとしてもにいつくことができなかった。  
③なんとしてものだけはがなければならない。  
「あらゆるをくしても」「どれだけしても」というをす。「どうしても」のきことばない。(420)

### 【なんとなく】となく

①なんとなくにてみたくなりました。  
②としていると、なんとなくがまるんです。  
③となくをぶらついていてにったのです。  
「はっきりとしたやはなしに」というをす。(420)

### 【なんとはなしに】とはなしに

①なんとはなしにのにってみたくなりました。  
②とはなしにながするので、くにりました。  
③とはなしにをいていたらろからびとめられた。  
「なんとなく」とじ。⇾【なんとなく】  
(420)

### 【なんとも】とも

1　なんとも  
①なんともしないことをしてしまいました。  
②ともったことをしてくれたものだ。  
③あいつのなには、ともがたってがない。  
④がえてしまうなんて、ともなですね。  
くはましくないにして、そのがどうしてよいかからないほどだということをす。  
2　なんとも…ない  
　  
a　なんともV－ない  
①がどうなるかはまだなんともえませんね。  
②みんなはしたかもしれないが、はともとしないちだ。  
③のっていることはともかりかねる。  
④あんなことをするたちのちはともできない。  
「えない」「からない」などのをいて、とってよいかからない、がはっきりとできない、はっきりすることができないなどのちをす。  
b　なんともV－ようがない  
①こんなになって、なんともおびのしようがありません。  
②にななので、なんとものしようがありません。  
③するかどうか、のではともいようがない。  
④がこんなにないのでは、とものしようがありません。  
「いようがない」「のしようがない」などのをいて、とってよいのかからない、がはっきりとできない、はっきりすることができないなどのちをす。①はのちをくす。のちをすには、「なんとも」をうより「なんとおをってよいのかかりません」などののがい。  
c　なんともない　  
なんともおもわない  
①A：がいんじゃありませんか。  
B：いいえ、なんともありません。ちょっとれただけです。  
②いちだけで、のけがはともありませんでした。  
③A：あの、こわかったでしょう。  
B：ううん。ともなかったよ。  
④がこんなにしているのに、のはともっていないでした。  
⑤こんなににされているのに、あなたはともじないのですか。  
⑥A：さっきはあんなことってごめんなさい。  
B：いや、にともってないよ。  
「なんともない」ので、「たいしたことはない」「にはない」というをす。のやのにしていられることがい。また「ともわない」「ともじない」のようにいて、たいしたことだとはわない（じない）というをす。  
d　A－くもなんともない  
①そんなはくもともないさ。  
②のはおもしろくもともない。  
③でいたってしくもともない。  
④のなんかみたくもともないよ。  
⑤そんなくだらないもの、ほしくもともない。  
「い」「おもしろい」などのや、「したい」「ほしい」などのをすとにいて、「そうではない」とくするちをす。「まったく…ない」「…ない」。(421)

### 【なんにしても】

①なんにしてもがです。  
②なんにしてもこのはきげたほうがいい。  
③なんにしてもにちいてもらいます。  
「ほかにもいろいろあるだろうが、どんなでも」というをす。(422)

### 【なんにしろ】にしろ

Nはなんにしろ  
①はにしろ、くしたをりかえなければならない。  
②はにしろ、あなたのやったことはっている。  
③はにしろ、がたせなかったことについてはをとってもらいます。  
「いろいろなやはあるだろうが」というをす。やがあることはめたで、・・などをうときにいる。(422)

### 【なんら…ない】ら…ない

1　なんらV－ない  
①らがどうおうと、にはなんらかかわりのないことだ。  
②のからはらるところがなかった。  
③がこれほどしているのに、はらわらない。  
「まったく…ない」「しも…ない」と、くするちをす。まったにいられる。しことばでは「なにも…ない」のがよくわれる。  
2　なんらのNもV－ない  
①らのにはなんらのもじられない。  
②のにしてはらのもなされていない。  
③らからはらのもられなかった。  
くするちをす。あらたまったにいられる。しことばでは「なんのNもV－ない」のがよくわれる。(422)